

吉田の町再発見!! 健康ウォーキング

③「かもしま・中須・大塚」史跡・名所めぐり

3kmコース



歩行時間

2時間

日本遺産構成文化財



「かもしま・中須・大塚」史跡・名所めぐり

(スタート) 大塚海岸又は防水センター 注意・・・防水センターを利用する場合は、事前に益田消防署に申請及び事後報告が必要となります。

○ 中須海岸・防風林(松林)



中須の海岸に、最初に防風林が植えられたのは約400年前と言われている。将来の地域の安全を願って、先祖が植林したものである。しかし、近年「松枯れ」が起こり始め、このままでは大切な松林が無くなってしまうと地区の人たちは不安になった。平成9年地区の人たちは、松林を守り再生の為に、地元の中須自治会の皆さんを中心に多くの人が関わった。現在ではその本数は、2万本まで復活した。（益田ふるさと物語参考）

○ 福王寺石造三重塔 (県指定文化財:昭和38年7月指定)



石塔はかつて安福寺（五福寺の1つ）があった中須浜崎の寺屋敷跡から、享保14年（1729）の益田川大洪水の際に掘り出されたもの。現在は十一重塔ですが、全体的なバランスから十三重塔であったと思われる。鎌倉時代後期の県内最古の石造美術品。

○ 中須西原遺跡



遺跡は、高津川と益田川の間に存在する砂州の内側に立地する。中世の段階では、潟湖が存在したと推定され、この遺跡は水域と居住域の境界付近で営まれたとみられる。

○ 中須東原遺跡 (国指定史跡:平成26年3月指定)



中州西原遺跡に隣接した益田川河口部に位置する中世の湊町の遺跡。船着場・荷揚げ場跡と思われる礫敷、鍛冶炉跡などが良好な状態で残り、また国内各地や中国・東南アジアの陶磁器も豊富に出土した。これらにより、中世の湊町と交易の様子を現在に伝えている。

(ゴール) 大塚海岸又は防水センター